

体育館や会議室をネットで予約できます!



R6.3.1から、奥州市内の公共施設をスマートフォンやパソコンを使って予約できるようになります。北股地区センターの体育館や会議室はもちろん、他の地区センターを予約することもできます。空き状況も確認できます。

市民サイト <https://k3.p-kashikan.jp/oshu-city/>

詳しく知りたい方はお気軽に北股地区センターまでお問合せ下さい。☎52-6513

尚、今まで通り電話での予約も承ります。

令和5年度 市勢功労表彰

1月12日に本庁舎で、天田の菅原徹さんが「消防功労」で表彰されました。旧衣川村時代から消防団に46年勤め、最後4期8年間は奥州市の副団長を務められました。



【良かったこと】

先輩や後輩と幾度となく飲み、交流が図れ財産となった。

【辛かったこと】

極寒で、氷上で転倒しながらもホースを握っていた。

イタヤカエデの樹液ってどんな味?



「有浦の佐藤雄基さんが敷地内のイタヤカエデから樹液を取って飲んでみるらしいよ」と聞いて早速取材してきました。大地が吸い上げた神秘の水。採れるのも今の時期だけとの事で、採取ホースの先に据えられたペットボトルには既に透明な液体が! 貴重な樹液を一口頂いてみると『ほんのり甘い!』。雄基さん曰く「テレビで見てやってみようと思った(笑)」との事でした。「長寿の妙薬」とも言われているカエデの樹液には、疲れを取り活性酸素の働きを抑える効果があるそうですが、やってみようと思う雄基さんの行動力こそ「長寿の妙薬」のような気がします♪

管理栄養士オスメレシビ

【鶏むね肉のごま蒸し煮】

- ①鶏むね肉は皮を取り一口大に切る
- ②さつまいもは皮をむき、食べやすい大きさに切る
- ③しめじは石づきを切ってほぐしておく
- ④ポリ袋に材料・調味料全てを入れ、空気を抜きながらなるべく上の位置で結ぶ
- ⑤沸騰した湯に④のポリ袋を入れ20分間程度加熱し、具材に火が通ったら出来上がり!!



～材料(2人分)～

鶏むね肉160g、さつまいも90g、
しめじ60g、すりごま大さじ2、
しょうゆ大さじ1/2、砂糖小さじ2、
水 大さじ3 ★ポリ袋をご用意ください

～あとがき～

このような雪が少ない年は、私が生まれてから記憶になく(あやふや)、石鳥谷の「たろし滝」も測定不能という結果で、農家の皆さんは水が足りなくなる心配をしているようです。自然に逆らわず豊作を望みたいです。

第161号 北股地区振興会だより



北股のシンボルマーク

奥州市衣川小田212番地 北股地区振興会編集 令和6年2月22日(木)発行

TEL 0197-52-6513 メールアドレス: kitamatacc@yahoo.co.jp

2月10日(日) 旧正月に、衣川スノーバスターズ(除雪支援隊)が出動しました。

石川利己会長は「発足後このように雪が少ない年は初めてです。」と挨拶の中で語っていましたが、本当に暖かい日が続き雪だまりの影はありません。異例ですが、例年除雪している北股・南股・大森地区をバスで巡回し、現場を見て雰囲気だけでも感じとる事としました。衣川中学校の生徒18名を含む計28名が参加しました。「困っている高齢者を助けたいので除雪支援隊に立候補しました。」と生徒達は話をしてくれました。人口は減少していますが、元気な子供たちの力を借りながら活動が永く続くことを期待します。



北生会・振興会共催 第2回田舎カフェ



2月15日、日本珈琲社（水沢宮下町）の坂本さんをお迎えして、第2回田舎カフェを開催しました。今回は、コロンビアブレンド、キリマンジャロ、ヨーロピアンブレンドの3種の珈琲を淹れていただきました。部屋中に漂う珈琲の香りにリラックスした様子で、美味しい珈琲を飲み比べていました。参加者の皆さんは近況を報告したり、北股地区の将来を語ったり、会話に花を咲かせました。

「自分の地区だけではなく、北股地域全体で交流できる機会を増やしてほしい」といった声があがりました。家のこたつで飲む珈琲もいいですが、外へ出てたくさんの人と会話を楽しむことは、心身の健康につながります。



～北生会 新年会～

1月27日（土）、金成温泉「延年閣」にて北生会新年会が執り行われました。到着するやいなや、乾杯はお預けで、大広間で舞踊を観賞しました。参加した21名の皆さんは美しい舞いに魅了されました。その後、会長の高橋奉美さんから新年のご挨拶をいただき乾杯しました。今後の活動や、地域への思いを語りながら親睦を深めました。



農村RMOシリーズ⑨



この先の農地を考える勉強会 2連発!!

2月4日（日）、西和賀町沢内大野地区の「地域まるっと中間管理方式」～集落ぐるみの農地管理～を視察してきました。27名の参加者は、地域の魅力を高めながら80haの農地を集落全体で維持・管理する取り組みに熱心に聞き入り、多くの質問や意見交換をしました。



可知祐一郎氏講演会

2月18日（日）、地区センターに愛知県から「魅力ある地域づくり研究所」代表の可知祐一郎先生をお迎えして、「地域の農地を守る新たな選択肢『地域まるっと中間管理方式』」の研修会を行いました。40名の参加者は、これからの農業にそれぞれの課題や悩みがあるなかで「もう、待たなし」という危機感を共有して、課題解決の糸口を探していました。

その後、ランチミーティングをはさんで、第2回地域ビジョン検討委員会を開催しました。

農村RMO星の広場 地域ビジョン検討委員会の委員をご紹介します。
佐々木 悟さん（外の沢） 加瀬 薫さん（大平） 高橋 典康さん（有浦）
阿部 弘喜さん（西ノ窪） 菅原 善仁さん（天田） 桑畑 1名予定

～衣川両温泉の動向について～



■ 国見平温泉の維持管理・活用について ■

温泉営業を停止した国見平温泉について、奥州市では、地域で有効活用してほしいと期待しています。そのため今年3月末までは奥州市が管理し、4月以降は北股地区振興会に業務委託する形で、いつでも施設を利用できる状態にしていく方針です。振興会としても、施設の活用や維持管理業務の受託について、役員会等で検討してまいります。地域の重要な資源の活用について、皆さんからの率直なご意見をお寄せください。



■ 黒滝温泉の指定管理に向けた動向について ■

黒滝温泉では、源泉ポンプ装置の修復工事が進み、試験的に源泉を汲み上げている状況です。当面、揚湯試験を続け、安定した湯量や温泉成分の確保を目指す方針ですが、関係者は早期の営業再開を待ち望んでいます。一方、南股地区振興会では、温泉の指定管理に向けた準備が急ピッチに進められています。衣川地域振興会連絡会をはじめ、オール衣川の支援も受けながら、運営組織体制の強化や収支改善に向けた経営の策定など、関係者が一体となって協議し、対応しているところです。